
星の心臓

小池ひかり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星の心臓

【Nコード】

N0703I

【作者名】

小池ひかり

【あらすじ】

豊かな星、クレイドル、に今危機が訪れようとしている。星を救うため、おてんば王女と5人の戦士が旅立つ…。

第1話…王女の運命

宇宙には限りない数の星が存在していた。

クレイドル

その星にはエンドと言う妖精が住んでいた。

エンドはクレイドルに住むドラゴンと共存し、知恵や言葉を身につけ、自分を造り上げた神の存在を知った。

エンドは神の住むと言われる天空へ旅立った。

神と、その家族たちと過ごすうちにエンドは自分も家族が欲しいと思うようになった。

神はエンドの正直で誠実な性格を信じ、アクロス、ヴァルア、ドルチエ、テガ、セフィクレトスの5人を家族に与えた：

「それから、何千年も経ち今の強大なクレイドルの星ができたのですよ。そして…」

「もういいわ！その話あたしが物心ついた時から毎朝、14年も聞かされているのよ！」

「ロウル様！一国の姫君が、あたし、などはいけませぬわ！今日は特別大事な日ですのに！」

「あたしはまだ結婚なんてしないから！」

ここは様々な人種の集まる商業の中心地、そして世界最強を誇る大国、リウベク。そして今日は軍事大国、ガーランドの皇太子との結婚式だ。

そう、ただ国を強くしたいだけじゃない。

一族で一番落ちこぼれのあたしを後継者から外し、早く新しい後継者になる子供を産ませるため。こんな運命は嫌だ。

あたしは…ロウル・クリスタル・エンドは今日をもって王女の座を降りるわ！

第2話…エリート

がさがさ…

（もう王女なんてやってらんないし！17で結婚なんて…結婚式始まる前に逃げちゃうぞ！）

「おいロウル。なにやってるんだ。まだドレスきてないのか？」

「げっネクト…」

「あと二時間だぞ。早くしろよ。」

よりによってこいつに見つかるなんて…

ネクトはフォレスト將軍の息子で、生まれたときから一緒にいる幼なじみのようなもの。

「ネクトは準備できたの？」

「俺は剣があればいい。」

悔しいけどネクトは超エリート。若くして將軍の次に強いって言われている。

「さ、早く着替えろ。それとも着替える前に召喚術の練習付き合うか？」

「い、いいよ…あたしどうせ、ヴィーナスしか喚べないし…」

「じゃあ早く着替えろ。皇帝がウェディングドレス楽しみにしてるぞ。」

つん、とあたしの額をつついてネクトは去っていった。

（同じ年なのにどうしてこうもあたしはバカだし、召喚できないし、ガキなんだろ…）

あたしは悔しいような、むず痒いような変な気分だった。

大人しく部屋に帰り、ドレスに着替え、メイクをした。

（あたし、このまま運命決められちゃうのかな…）

鏡の前の変にケバい自分を見て考えていた。

「ロウル様。お美しゅうございますわ。」

「エミリー、あたしケバくない？」

「いいえ。今現在世界一美しいかと…」

どうせ結婚するなら好きな人がよかった。

美しいって言われるなら、愛してる人がよかった…

「ロウル様。この星の歴史にはまだお話していないところがたくさんございます。ロウル様がご懐妊された頃にお話申し上げますわ。」

「もう、聞きたくないわよ！あんなつまらない話！」

「もう！ロウル様……」

あたしはエミリーと一緒に部屋を出て会場に向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0703i/>

星の心臓

2010年11月6日01時37分発行